

シンポジウム 「丹沢再生 はじまる ～私たちは、何をすべきか、何ができるか～」

日 時： 2006年3月4日(土) 10:00～16:00

場 所： 県厚木合同庁舎分庁舎(愛甲教育事務所)講堂
厚木市水引1丁目11番13号 (本厚木駅徒歩15分)

主催： 丹沢大山総合調査実行委員会 / 神奈川県自然環境保全センター

当日プログラム： 総合司会 丹沢大山総合調査 調査企画部会長 木平勇吉氏
(日本大学教授)

はじめのあいさつ 丹沢大山総合調査 実行委員長 新堀豊彦氏
(神奈川県自然保護協会会長)

午前の部

- ・ 「自然再生とは?～新・生物多様性国家戦略の展開と自然再生」
環境省自然環境局自然環境計画課 谷川潔氏
現在の自然環境行政の総合的施策と、その中での自然再生の位置づけについて。また全国の事例を紹介 (30分)
- ・ 「丹沢再生の方向性」 丹沢大山総合調査政策検討ワーキンググループ 羽山伸一氏
(日本獣医畜産大学助教授)
基本構想(案)の説明と、今後丹沢ですすめていくべき自然再生の方向性について提案(25分)
- ・ 「知床での自然再生の取組」 (財)知床財団 山中正実氏
民間組織である知床財団が主体となった自然再生の取組の事例 (40分)
- ・ 質疑応答 (55分)

午後の部

- ・ 「総合調査の成果とこれから」
丹沢大山総合調査でわかったことと、これまで議論してきたことについて、8つの特定課題ごとに10分程度のプレゼン(90分)
- ・ 「総合討議」
会場の参加者も交えたディスカッション (60分)

おわりのあいさつ 丹沢大山総合調査 調査団長 青木淳一氏
(神奈川県立生命の星・地球博物館 館長)

定 員： 350名(参加無料) 要申し込み

申し込み： 2月24日(金)必着

問合せ・申込み先： 神奈川県自然環境保全センター 企画情報課

電 話 046(248)0323(代)

046(248)0992(直)

F A X 046(247)7545

e-mail tanzawa01.419@pref.kanagawa.jp